

モニタリングレポート(令和7年度)			
施設名	鈴鹿市河川防災センター		
施設所在地	鈴鹿市庄野町981番地1		
指定管理者	株式会社 GFM		
施設担当課	防災危機管理課	問合せ先	059-382-9968
モニタリングの実施方針・方法等	施設の管理・運営については、月次報告書、年度事業報告書、定期的な現地調査等により確認。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開館日数	357日	357日	0日
開館時間	3,034時間	3,034時間	0時間
利用者数	5,000人	3,787人	▲1,213人
事業参加者数	—	—	—
平均利用者数(／日)	10人	施設稼働率	50%

1-2 目標の達成状況の推移

施設の年間利用者数						
	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
目標値	5,000	5,000	5,000			
実績値	4,650	4,876	3,787			
差	▲350	▲124	▲1,213			

【運営状況に関するコメント】

大きな問題やトラブルもなく、概ね計画通り運営している。定期的な清掃等により清潔に保たれており、利用者アンケートの結果からも高い評価を受けている。
利用者数については、目標値を大きく下回っているが、空調設備の改修のため会議室・小会議室の利用を制限していたことが大きな要因となっている。但し、平均値で計算しても目標値には届いていないことから、引き続き利用者の増加に向け取り組んでいく。

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	14,887,000	14,887,000	0
利用料金	—	—	—
事業収入(自主事業を除く)	0	0	0
その他収入	0	0	0
収入計	14,887,000	14,887,000	0
人件費	7,800,000	8,009,666	209,666
管理費	6,268,000	5,577,010	▲690,990
旅費交通費	340,000	327,963	▲12,037
消耗品費	300,000	228,445	▲71,555
燃料費	15,000	0	▲15,000
印刷製本費	0	0	0
修繕費	600,000	252,824	▲347,176
通信運搬費	100,000	204,446	104,446
光熱水費	2,300,000	2,210,592	▲89,408
受信料	95,000	97,224	2,224
手数料	28,000	25,935	▲2,065
保険料	175,000	17,337	▲157,663
委託料	2,200,000	1,989,590	▲210,410
賃借料	0	110,330	110,330
備品購入費	100,000	97,803	▲2,197
本部管理費	15,000	14,521	▲479
事業費	0	0	0
租税公課	814,455	963,796	149,341
支出計	14,882,455	14,550,472	▲331,983
収支	4,545	336,528	331,983

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	0	1,920	1,920
収入計	0	1,920	1,920
自主事業経費	0	0	0
支出計	0	0	0
収支	0	1,920	1,920

2-3 使用料実績

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
実績額	—	—	—

【事業収支に関するコメント】

事業収支において黒字となっており、概ね経済的かつ効果的な管理運営がなされたものと認められる。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目	評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価		
公民連携に対する理解と姿勢	良	業務内容や施設の設置目的を明確に理解しており、模範的な管理を行っている。
施設に対する理解	良	
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	良	
業務の履行確認：可・否の2段階で評価		
施設運営の状況		
管理運営の実施体制	可	苦情・トラブルは発生していないが、発生時の対応マニュアル等を整備しており、対応準備が整えられている。
施設運営の実績	可	
施設の使用に関する業務の状況	可	
苦情・トラブルへの対応	可	
施設の維持管理状況		
保守・点検・各種設備等の管理業務	可	定期的な保守・点検が行われており、修繕が必要な設備については、事前に協議が行われており適切に管理されている。
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	可	
備品の管理状況	可	
修繕の状況	可	
事業の実施状況		
指定業務内の事業の実施状況	可	窓口対応や施設の維持管理等、適切な事業の実施が確認できた。
企画提案事業の実施状況	可	
自主事業の実施状況	可	
サービスの質の評価：良・可・否の3段階で評価		
サービスレベルの評価		
施設サービス全般(接遇、情報提供、周知)	良	サービスの提供面、衛生面、いずれも高水準で維持されており、定期的に行われているアンケート調査でも多くの利用者に満足いただいている旨確認できた。
維持管理業務	良	
運営業務	良	
事業内容の評価		
指定業務内の事業	良	指定業務内の業務が計画通りに実施されている。また、自主事業も適切に行っており、利用者のニーズに併せて意欲的な事業の実施が確認された。
企画提案事業	良	
自主事業	良	
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価		
指定管理業務に関する収支状況	良	収支計画書に対し、執行状況は妥当なものである。
指定管理者本体の財務状況	良	
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価		
緊急時の対応評価	良	緊急事態時には、定期的な状況報告が行われており、適切に対応していることが確認された。

【業務内容に対するコメント】

大きな問題なく業務を行っている。利用者からの意見があれば速やかに対応しており、サービスの質の向上に努めている。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

施設の設置目的や今後の方向性を深く理解し運営されている。災害発生危険性が高まった際には、適宜、現場状況の報告や対応の協議等の連絡があるなど、災害発生時に対する準備体制を整えている。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

施設の設置目的にあった自主事業の実施等を行っており、貸館業務だけでなく施設や防災に関する啓発活動に積極的に取り組んでいる。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

業務を行うにあたり、明確なルール及び責任体制を設けている。職員に対し定期的な研修を実施し、職員の能力向上に努めている。また、規則を十分に理解しており、コンプライアンス、環境配慮等を意識しつつ業務を行っている。

【経済性】

職員は強いコスト意識をもって業務を行っており、サービスの質を維持しつつ必要経費の削減に取り組んでいる。

【業務遂行能力】

連絡体制が明確に定められており、非常時においてもスムーズな対応が可能となっている。

【指定管理者に対する総合コメント】

業務の履行、サービスの質ともに優秀な内容である。利用者アンケートの結果においても非常に高い評価を受けており、今後も引き続き良質なサービスを提供していただきたい。

5 施設の課題と対策

竣工から長期間が経過しており設備等に劣化がみられるが、定期的な修繕により施設の状態が良好に保たれている。今後も、継続的な劣化状況調査により、適切な管理を行っていく。

6 施設の方向性

河川防災センターは防災拠点として重要な施設であることから、定期点検結果に基づき修繕を実施しながら施設を維持していく。今後も質の高い管理を維持していけるように指導を続けていく。